



平成19年8月27日

## デュアルモードの導入促進に関する実証運行案件の決定について

国土交通省では、IMTS、水陸両用車、DMV等、鉄道、バス等といった既存の輸送モードには分類できず、これらの輸送モードにまたがって運行するような新たな輸送サービス（デュアルモード）の普及・促進を図るため、そのあり方についての検討や導入にあたっての課題整理を行うこととし、デュアルモードの導入促進に関する調査業務の一環として実証運行を行うこととし、7月6日より8月6日までデュアルモードの導入促進に関する実証運行案件の公募を行いました。

8月23日、デュアルモード検討委員会を開催し、本案件公募への応募案件について、実証運行の実現可能性に関する事項、当該地域における事業化可能性に関する事項、他地域への展開可能性に関する事項、それぞれからの審査を行った結果、下記の案件を実証運行案件として決定しました。

今後は、申請者が実証運行の詳細、及び安全審査その他法令上の許認可等の手続きについて、関係部局に確認・調整を行い、所要の手続きを行った上で実証運行を計画、実施することとなります。

### 記

#### ○実証運行採択案件

- (1) 地域： 熊本県南阿蘇地域
- (2) 申請者： 熊本県、大津町、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町、南阿蘇鉄道株式会社
- (3) 対象とするデュアルモード： DMV（デュアル・モード・ビークル）

(以 上)

<問い合わせ先>

九州運輸局 企画観光部 交通企画課

担当 大塚、須藤

電話 092-472-2315

## 実証運行案件の概要について

### 1. 実証運行案件のデュアルモードシステム DMV

### 2. 申請者

熊本県、大津町、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町、南阿蘇鉄道（株）

### 3. 当該デュアルモード導入の目的及び効果

#### 背景・目的

- 新幹線開業に合わせた地域交通アクセスの強化の必要性
- 地域の生活交通の維持活性化の必要性

新幹線くまもと創りプロジェクトの推進

線路と道路を一体とした  
観光ルートの確立

地域交通網の再編

南阿蘇鉄道の収支改善

#### 期待される効果 (短期的)

- ・ 南阿蘇地域における観光活性化・地域活性化
- ・ 南阿蘇鉄道の経営安定化（地方鉄道の維持・活性化）

#### 他地域への発展 (中・長期的)

- ・ 鉄道とバスの融合による地域交通活性化モデルの確立
- ・ 低密度利用路線における持続可能な鉄道経営モデルの確立

### 4. 実証運行実施計画

#### (1) 実施地域

熊本県阿蘇郡高森町及び南阿蘇村

#### (2) 実施区間

鉄道区間：南阿蘇鉄道高森線 高森駅～中松駅

道路区間：国道 325 号線、主要地方道熊本高森線、主要地方道矢部阿蘇公園線、  
県道 149 号線等

#### (3) 運行計画

実施時期：平成 20 年 1 月予定（3 日間程度）

運行本数：1 日 3 便

### 5. 実証運行実施体制

#### (1) 実証運行に向けた関係機関との調整状況

- ・ 地元自治体、九州運輸局、熊本県公安委員会、交通事業者、観光協会等により構成される「熊本県 DMV 導入実証実験協議会」を設置している。

#### (2) 実施体制

- ・ 「熊本県 DMV 導入実証実験協議会」が主体となり実施する。

(以上)